

目 次

序

I はじめに	1
II 本田・東台遺跡の調査	2
1. 第8号住居跡	4
2. 第13号住居跡	5
3. 第19号住居跡	7
III 塩西遺跡の調査	11
1. 第2号跡	12
2. 方形周溝墓	16
IV 本田・東台遺跡について	18
V 塩西遺跡について	19

序

緑と清流の自然環境に恵まれた江南村は、いにしえより人々の生活に適した場所であったようです。村の北部に当る沖積底地に広がる水田地帯、なだらかな、所々に湧水を発する洪積台地や丘陵地には、祖先の生活を示す多くの遺跡が埋れています。この遺跡の中には縄文時代の集落跡をはじめ塩古墳群や戦国時代の城跡など、長い時代に亘って、いろいろな種類があることがわかっています。

このたび農業振興事業として、農村総合整備モデル事業、連絡農道整備事業などが5年の予定で実施されるに当たり、工事によって失われる遺跡を調査、記録するため発掘を行いました。本田、東台遺跡では古墳時代の集落が現われ、塩西遺跡では江南村では初めての先土器時代の遺物が発見されました。これらの遺物は郷土の先人の貴重な遺産として永久に保存し、社会教育のため活用してまいりたいと存じます。

最後になりましたが、調査にご協力をいただいた地元の方々、立正大学生には心から感謝申し上げます。

昭和59年3月

埼玉県大里郡江南村教育委員会
教育長 小島 孫 一